



国税庁e-Taxキャラクターイータ君

e-Tax 推進税理士事務所のご案内

公益社団法人荒川法人会では、本年度の事業活動基本方針に「(7) 国税電子申告・納税システム (e-Tax) 及びeLTAXの利用促進」を掲げ、「会員企業のe-Tax利用割合を70%以上に高めることを当面の目標とする」旨を明記しておりますので、会員企業の皆様には、この「e-Tax 推進税理士事務所」名簿を参考にさせていただき、顧問の税理士先生によるe-Tax代理送信をはじめ、e-Tax及びeLTAXの更なる利用促進になお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

荒川法人会会長 伊澤 英敏

東京税理士会荒川支部「e-Tax 推進税理士事務所」(敬称略)

平成27年7月末日現在

氏名	事務所	電話番号	氏名	事務所	電話番号
税理士法人荻野会計事務所	南千住 5-25-14	3803-2328	大澤 泰一	西日暮里 5-23-7-301	3805-1020
笹島 健司	南千住 7-1-1-702	3806-6563	大澤 陽一郎	西日暮里 5-23-7-301	3805-1020
高村 千秋	東日暮里 3-32-12-301	6806-8818	小坂 忠義	西日暮里 5-27-4-1204	3806-1466
片岡 正光	東日暮里 3-39-13	3801-1861	飯田 小夜子	西日暮里 5-31-14-4F	3807-5711
嶋田 裕一	東日暮里 3-42-8-1405	5811-6330	佐藤 博司	西日暮里 6-11-9	3893-8520
太田 謙次	東日暮里 4-11-10	3807-0569	高橋 保夫	西日暮里 6-25-12	3800-6633
加藤 吉郎	東日暮里 5-22-9-5F	3805-5545	アタス税理士法人	荒川 3-21-2-105	3802-8101
孫 準	東日暮里 5-41-12	6806-5167	菅野 昭文	荒川 3-61-4-501	3891-5371
五位 光壽	東日暮里 5-50-17-402	5811-4466	石井 孝光	荒川 3-63-2-2F	3802-4515
荒川 政明	東日暮里 5-50-17-402	090-9957-9679	松本 幹夫	荒川 4-38-4-405	3806-7272
鈴木 剛	東日暮里 5-52-2-401	3802-3327	小泉 昇	荒川 5-4-2-703	6806-8156
田中 秀昭	西日暮里 2-17-7-3F	5615-0171	上南 日出男	荒川 5-46-7	5692-0225
岩倉 一久	西日暮里 2-21-4-3F	3803-0600	磯野 照樹	荒川 6-31-9	3893-9333
富岡 潤一	西日暮里 2-21-6-602	3806-0006	若宮 俊樹	荒川 6-37-2	3895-5171
税理士法人渡辺会計	西日暮里 2-25-1-909	3805-1221	鈴木 義明	荒川 6-65-8	3894-4807
柳谷 せつ子	西日暮里 2-25-1-1702	3801-2802	赤池 照子	荒川 6-65-8	3894-4807
小野 敏人	西日暮里 2-53-2-101	6806-6940	望月 壽夫	町屋 1-14-1	3892-5741
井上 俊彦	西日暮里 3-6-9-2F	5815-8377	金子 隆俊	町屋 1-19-1-102	3892-4273
木田 正幸	西日暮里 4-23-3	3828-3136	大久保 俊治	町屋 8-8-7	3892-4426
小川 秀行	西日暮里 4-29-1	5685-7474	古川 芳雄	東尾久 2-45-7-201	3892-6449
税理士法人TMC会計	西日暮里 5-5-2-4F	5604-0177	齊藤 潤一	東尾久 5-41-4	3893-4726
税理士法人永瀬事務所	西日暮里 5-14-4-2F	3806-8001	下村 典正	西尾久 4-8-10-201	6807-6933
古河 法子	西日暮里 5-14-4-7F	3891-2108			

随筆

高校生の娘が、荒川区国際交流協会主催の「高校生相互派遣事業」へ参加し、この夏に荒川区の友好都市であるオーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区を訪問してきた。そして、娘が帰国した翌週には、初めての経験となる…ホストファミリーとして派遣生の女の子(ウィーンでのホストファミリーのお子さん)を受け入れることとなった。

娘が楽しく充実した日々をウィーンで過ごせたように、彼女にも心地よく過ごしてもらうにはどうしたらよいか、8月に入ると同居する私の両親も巻き込みでの準備が始まり、11日間のミッションを迎えることとなった。

彼女は公用語であるドイツ語だけでなく英語も流暢で(国連の諸機関もあり英語を話せる人が多いそうだ)、学校ではスペイン語も学んでいるという。反して我が家は、ドイツ語はおろか英語もおぼつかず話しかけられる6~7割の内容は理解できても、こちらからは言いたい言葉がうまく出ずに知りえる単語を羅列して身振り手振りし

てまさにボディランゲージでのコミュニケーション…、しかし伝えたい思いと理解しようとする思いが繋がった時の達成感を感じながら何とか日々を乗り越え、最後は涙・涙の別れとなった。

今回の経験で、異文化交流とは相手や自分を“知りたい・伝えたい・受け入れたい・受け入れてもらいたい”という積極的な心で接する「相手を理解しようとする気持ち」が大切であり、自分の意識のあり方で「壁」は簡単に取り払われるという事をあらためて学んだ。

小泉内閣が「観光立国宣言」以降、様々な取組みから訪日外国人観光客も増えており昨年は1,341万4千人と前年比約30%増となった、政府は東京オリンピック開催となる2020年には目標を3,000万人としている。街中でも、

スマートフォンやガイドブックを広げる外国人観光客を多く見かけるようになった、東京都のボランティアガイドとまではいかないが困っている彼らに出会った際は“おもてなし”の気持ちで接していきたい。

「2015 夏」

西尾久支部長 中村健一